

「和は良酒を醸す」

事務部 石川 紳



みなさん、お酒はお好きですか？ひとえにお酒と言ってもビール、日本酒、焼酎、ウイスキー、ブランデー、ワイン等々、いろいろな種類があります。みなさんはどんなお酒がお好みでしょうか？

大学卒業後、働き始めた頃（ン年前？）はまだワインブームでもなく、日本酒はちょっとダサイ（古い？）感じで、呑むと言えばウイスキーばかりでした。当時、居酒屋で呑む日本酒は美味しく感じられず、むしろ嫌いだったかもしれません。そんな私が日本酒に目覚めたのは、初めて家内の実家（新潟県）を訪れた時です。知らない銘柄の一升瓶をドンッと目の前に置かれ、断られる雰囲気でも無く、注がれるままに呑みました。その美味しかったこと。地元の小さな酒蔵で造られている「特別純米酒」でした。とても呑みやすく、その後何杯もおかわりをしました。今では家内の実家へ行った時に呑むこの日本酒が、楽しみのひとつとなっています。

私の日本酒へのこだわりは「純米酒」であること。本来日本酒は、水と酒米と米麹だけで作られていました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、「純米」と表示することができるのは、原料に米と米麹だけを使って造られたお酒だけです。日本酒度が何度だとか、詳しいことはわかりません。呑んでみて、自分に合うか合わないか、ただそれだけです。長野県は新潟県同様、米どころ、水どころ、酒どころです。縦に長い長野県は、北から南まで異なった酒質の日本酒が楽しめます。お勧めの日本酒がありましたら是非教えて下さい。

酒造りに携わる方達が大切にしている言葉に、「和醸良酒」という言葉があるそうです。「良いお酒を醸すには、蔵人が心をひとつにして取り組まなければならない。」と言った意味だとか。和をもって醸し出されたお酒は、人と人の和やかな絆をも結びと言われます。私もみなさんとの和を大切にしていきたいと思ひます。

冬はやっぱり日本酒ですね。

委員会紹介

CS委員会

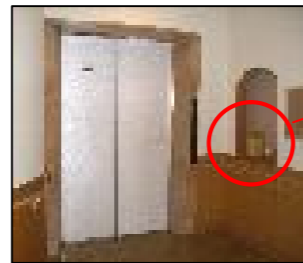
CS委員会委員長 田淵勝子

CS委員会とは、Customer Satisfaction=顧客満足度を高めるための委員会です。ご利用者が再びこの施設を利用したいと思っていただけるよう接遇上の問題を明らかにし、実行するセクションに届けるのが委員会の役割です。職員の接遇に対する意識向上、サービス向上のための接遇研修会、アンケート調査等を行っています。

昨年もお忙しいところアンケートにご協力いただきまして、ほんとうに有難うございました。貴重なご意見をたくさんいただきました。このご意見は私たちの仕事に必ず反映させていきたいと思っております。

また、アンケート以外で皆様からのご意見を頂戴できる「意見箱」を、1階エレベーター横に設置してあります。どんな細かいことでも結構ですので、どうぞご利用下さい。

白馬メディアが皆様から愛される施設になれるように努力して参ります。私たちの気がつかないところをどんどん指摘下さいますよう、今後もよろしくお祈りします。



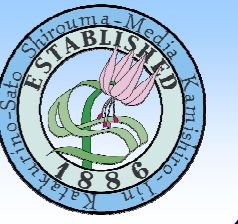
1階エレベーター横にあるご意見箱です。

～編集後記～

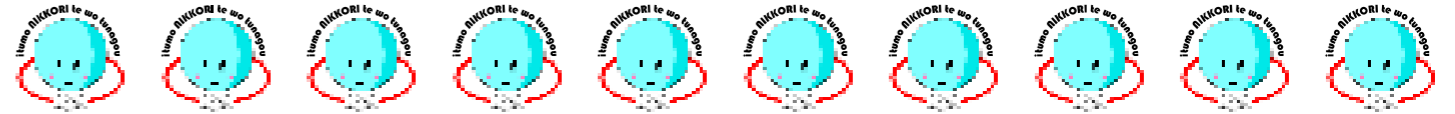
新年あけましておめでとうというございます。皆様体調はいかがでしょう。毎年、この時期になるとインフルエンザや感染性胃腸炎が心配になります。これらの感染症には、手洗いとうがい、マスクの着用が欠かせません。ところで職員の手洗いが十分行なわれているか、手洗い評価キットを使ってチェックしてみました。その結果、9割の人が、爪の周囲、指と指の間、手掌に汚れが残る状況でした。手荒れのひどい人程それが顕著に表れていましたので、手洗いも大事ですが、寝る前の手・指のお手入れをお勧めいたします。 西澤

にっこりい

～いつもやさしく～



発行日：平成20年1月10日 第11号



謹賀新年



新年明けましておめでとうございます

年末、年始は大雪に見舞われ大変でしたが、雪国に相応しい新年を迎えることが出来ました。メディアでは、年末に餅つきをして、ご利用者と一緒鏡餅を作りました。大小様々なものがありましたが、一晩すると、皆形が整い出来栄は上々でした。

元旦は、思い思いにおせち料理を盛り付けして、お雑煮を頂き、歌を歌ったり、会話を楽しみながら新年を祝いました。

編集・発行

城西医療財団 白馬広報委員会

特別医療法人 城西医療財団

かみしろ
神城病院（内科・心療内科・皮膚科・精神科）
‘S’ウェルネスクラブ神城（厚生労働省認定健康増進施設）
しろうま
白馬メディア（介護老人保健施設）
かたくりの郷（認知症対応型共同生活介護）
北アルプス訪問看護ステーション
北アルプス訪問介護ステーション
しろうま（居宅介護支援事業所）



〒399-9211
長野県北安曇郡白馬村大字神城 22844
TEL 0261-75-7100（代）
FAX 0261-75-7120

「楽しい一日」

白馬メディア つくし棟
介護部 永井 みほ子



「とても寒い一日だった」これが、私が企画した「楽しい一日」の私のパートナーの感想でした。第5回えべ祭ポスター展で施設長賞を受賞し、賞金と二人で過ごす一日をプレゼントされた日のことです。その日は3月も終わる頃の、雪が降ってそれは悪天候でした。

本当はね、「行きたくない」私のパートナーはおっしゃったんです。それも前から決めておられたようです。高齢、そして病、床に臥した長い生活、直ぐ疲労し思うようにならない身体。遠ざかった世間との交流、それを思うと私にもその気持ちはよく分かります。ましてや悪天候、私もやめた方がいいと思いました。でもね、私は行く事を勧めたんです。かたくなに首をふり続けるパートナーに。私は諦めて欲しくなかった。張り合いを持って欲しかったんです。

しかし、一旦決めた気持ちを動かすことは難しいことでした。私は必死になって言っていました。昨日は下見をした事、大変に思った気持ちもあったこと、それでも二人で一緒に楽しく、お洒落で安全に満足できる「楽しい一日」にしたい。そう思いながら飛び回った。その事に意味を見つけて欲しいと言いました。じっと黙って動かないパートナー、言い過ぎたと後悔をし始めたときです。

とうとう首を縦に振られ「行きます」そうおっしゃってくださったんです。

私の思いを全身で受け留めてくださったと感じました。「いきましょー！」出発！なんてたって悪天候、さぶーい美術館。御主人と息子様が待っておられる御寿司屋さん、ほっとしました。いっぱい食べていました。みんなが笑って喋っていました。嬉しかった。気が付けばパートナーは息子様の介護で横になり、休んでいました。岳の湯でマッサージはグッド・アイデアだったでしょう。こうして二人の「楽しい一日」の旅は無事終わりました。

その後、もちろん、パートナーはお元気ですよ。笑顔で「おはよう」って、休みの後は「随分顔見なかったわね」って、とっても嬉しいです。

そして、4月になり冬期シーズンも終わり、長い療養生活から御主人と御家族の待つお家に戻られたんです。

あの「楽しい一日」は、素晴らしいパートナーのおかげで、今も私の原動力になっています。そして、御家族との交流を深める良き機会になり、何より二人で語り合える最高の思い出です。

(パートナー=ご利用者です)

また、ポスター作りががんばります！

一日でも長く・・・

かたくりの郷
介護部 鷺澤 美佳



私は家で犬(柴犬のメス)を飼っています。今年の1月で17歳になりました。人間で言うと、80歳半は～90歳位でしょうか。

一昨年(2019年)の10月にケガをして、病院にかかった際に「認知症」だと診断され、その時から「介護」が始まりました。「認知症」になってからは、同じ方向に延々と、壁に頭をつけながら歩くようになりました。目も見えず、耳も聞こえなくなり、歩くにもバランスを保てず、よく転んでしまいます。転ぶと起き上がれないので、起きれるまで大声で鳴いています。それを私たち家族が起こします。ご飯やトイレも自分で上手く済ませることが出来ないで、ご飯の介助をしたり、オムツ交換をしたり...。夜に眠らないことも多々あるので、一緒に眠ったりもします。

平日は、家族全員が仕事のために家にいられない時間がどうしても3～4時間あります。そんな時は、家に帰り玄関を開けると、荷物を放り投げて、一目散に犬のところへ向かいます。転んで大声で鳴いていることがほとんどで、その体を抱き上げて「よく頑張ったね」などと声をかけます。そうしながら、転んではいてもケガなく元気でいてくれた姿を見て、自分もほっと胸を撫で下ろす...、それが今、私達家族の日常です。

まさか自分がペットの介護をするとは思いませんでした。最初は情報もなく、方法も分からず、頼れる人もいなかったのですが、同じように認知症の犬の介護をしている方と知り合うことが出来ました。お話を聞いて試行錯誤しながら、今、介護が始まって1年3ヶ月が経ちました。いまだに試行錯誤ですが、元気でいてくれます。

ペットとはいっても、正直、介護をする中では、イライラすることもあり、いつまで続くのだろうかと心が重くなることもあります。その反面、いつまでも終わってほしくない、いつまでも元気でいてほしいと思います。

簡単に受け入れられませんが、いつかは「お別れ」の時が来てしまいます。最後は、犬にとっても私達家族にとっても、よい時間だったと思いたいです。今はただそれだけを信じて犬と向き合いたいです。

犬にとってこの1年3ヶ月やこれからの時間は記憶に残らないかもしれませんが、それでも、ご飯をたくさん食べて、しっかり歩いて、ぐっすり眠って...。そんな日常が一日でも長く続いて欲しいです。

緊急時に備えて



心肺蘇生法とAEDの使い方の訓練を行いました。

防災訓練



10月25日
白嶺と白馬メディア合同の
防災訓練を行いました。

寄贈・ボランティア活動等でお世話になった皆様

飯森新撰組様
歌とお話の仲間達様
太田 明様
勝野明盛様
五龍館様
高橋りつ子様
竹田登茂子様
伊達悦子様
白馬北小学校の皆様
樋本朝夫様
斎藤津代志様
ひまわりの会様
山岸マサ様
(有)池田建設様
松澤明夫様
Y・Sキッズ様

池田エコ様
大糸木材(株)様
太田良恵様
金本高子様
酒井房夫様
田淵高雪様
樽池そばの会様
原田竹一様
白馬南小学校の皆様
白馬草月流生け花の会様
長沢悦子様
三村和栄様
山地千里様
(有)ユートピア産業様
松澤賢介様
輪湖クリーニング店様

猪俣 斌様
小谷太鼓様
大町北高等学校様
(株)明口電設様
新田そばの会様
田中正巳様
男性合唱団「なにわ」様
白扇会様
白馬中学校の皆様
金本高子様
長谷川修一様
山岸 弘様
山の音楽家様
松澤けさる様
まめった講座塾*トスタッフ様

ありがとうございました